

ラジオmjcインタビュー紹介

このインタビューは、もりおか女性センターのインターネットラジオ「ラジオ mjc」で紹介しているものです。
元日本助産師会岩手県支部長で、2014年に保健衛生功労で旭日双光章を受章され、また、5月には平成29年度県勢功労者表彰を受章されました佐藤ムツさんのお話を4回に分けてご紹介しております。

* ラジオmjcで放送している内容を、抜粋してまとめたものです。

【第4回】 第1回から第3回では、看護婦になって盛岡市内の病院で働き始めたお話や保健婦として盛岡市役所で働いていた間のお話をお伺いしました。最終回は、もりおか女性センターで岩手県助産師会さんが実施している「七番めのポケ」についてお話をお伺いしました。

「七ばんめのポケ」とは

一人の子どもが生まれると、その子はお父さん・お母さん・其々のおじいちゃん・おばあちゃんの合わせて6つの愛情と様々な援助を受け取ります。妊娠・出産に関わる助産師が七番めのポケットとしてお役に立ちたいという願いをあらわしています。

七ばんめのポケを始めたときには、地域でどこか場所を借りて子育ての支援をやったんだけど、そのうちに、女性センターができたわけだ。その時に「私たちにどこかちょこっとでもいいから解放してもらって、子育ての手伝いができるようにしたいから」って話を交渉し、第二と四の土曜日に解放させてもらって、それがずっと続いている。

きっかけは、小児科の和光先生という方が、寄付してくれて、和光賞って賞にしたの。地域で何かをした人たちに、最初のうちは主に助産婦だったんだけどね。そのなかの1年間5万円の賞金を私が買ったの。何をしようかってみんなに相談して。

そのうちに制度が変わって、市が母子手帳の交付になったわけだ。その時に裸で生まれる子どもに対して、ベビー肌着でも縫って皆にあげたらいいかって婦人部の女性の会の人達とおらほ（岩手県助産師会）の役員と相談してやることになったわけだ。助産婦たちだけではとってまじないから、船の会（女性団体）の人達にも、相談して、そしたら、いいよって。そこから始まった。

市役所へ一番最初に持っていったら「むっちゃん、まさか1年や2年でやめねべっちゃん」って言われて。「うん、人のこと泣かせて終わりにされねべから、10年間は必ずやるから」って言って10年間続けた。小児科の先生、婦人科の先生も応援してくれて。

私たちは、飾るためにあげたんじゃないのに、ありがたいって額さ入れて飾ってたところがあつたよ。船の会の人たちが本当に喜んで手伝ってくれて、私が作ったやつ誰が着るんだろうって。

七ばんめのポケの意味を何かで喋ったときに「でもね6人がみんな揃ってるとは限らないんだよね」って言われた。「確かにその通りです。ただそういうふうによくの人に囲まれた形のなかで、子どもがこれから育つんだっていうつもりで、そして周りの人、この6人の人のいないところは我々も応援して、子育ての応援をするっていう気持ちがあります」って言ったら「ああ、それなら良い」って言ってくれた。

だから辞められなかったの。だけどいつまで何が出来るのかなって思うけど。でもやっぱり今考えてるのは、いつまでも小さい子に聞きたい。年取って、朗らかに暮らせる人に私もなりたいたいから。

*佐藤ムツさんのインタビュー全4回は終了です。是非、インターネットラジオ「ラジオ mjc」で佐藤ムツさんの生の声をお聞きください。楽しいエピソードが盛岡弁でたくさん語られています。



佐藤 ムツさん

もりおか女性センター

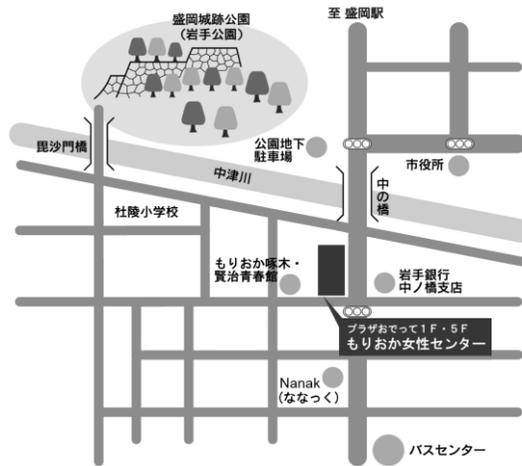
管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

もりおか女性センターは、^{ひとひと}女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5階
電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝 17:00まで)
休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 起業応援ルーム 芽でるネット

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって1階
電話番号 (019) 624-3583 FAX 050-2003-5778
開館時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00
休館日 土日祝日、毎月第2火曜日、年末年始



(バス) 盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車 徒歩3分

※女性センターには、専用の駐車場はありません。おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

● 女性相談

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。



ひとひと
—女と男、ともに参画する社会をめざして—

もりおか女性センター

ニュースレター

2017年7月 No.67

内容

- ◆男女共同参画週間もりおか展 2017 終了報告
- ◆事業のご案内
- ◆起業応援ルームからのお知らせ
- ◆ラジオ mjc インタビュー紹介「佐藤 ムツさん」



平成29年度事業テーマ

『学ぶ そして 深く考える ～認めあう社会へ～』

発行：もりおか女性センター

「男女共同参画週間もりおか展 2017」終了報告

6月10日(土)～16日(金)の一週間、もりおか女性センターでは「男女共同参画週間もりおか展 2017」を開催しました。今年度の講演会は、6/10 開会セレモニー終了後、「『私』を受け容れて生きる」と題して末盛千枝子さんにご講演をいただきました。



末盛千枝子さん講演会

《おでって3階ホール》



《末盛千枝子さん》

末盛さんは、初めに東京から盛岡に移られた経緯や、ニューデリーで予定されていた美智子皇后様の基調講演についてお話をされました。現地での基調講演は、核実験の情報で中止となったこと、講演はビデオに変更されたこと。そして、ビデオの収録や講演をまとめた「橋をかけるー子供時代の読書の思い出」の出版に際し、皇后様と直にやりとりをされたエピソードなど盛りだくさんでした。

末盛さんは、東日本大震災直後、3.11 絵本プロジェクトいわてを立ち上げました。そして皇后様をはじめ、全国からたくさんの絵本が絵本プロジェクトに送られてきました。その本は、絵本プロジェクトを通して被災地の子ども達のもとへ届けられました。

今年の4月には悲しくつらい出来事がありました。弟の舟越直木さん(彫刻家)を亡くされたこと、そして直木さんに寄せる思いを語られました。

そのほか、雑誌、新聞や日常の中で目に留まったこと、心に留まったこともたくさんご紹介いただき、それは時にゆかに、時に切なく、どのお話にもやさしさを感じられました。また、ご紹介いただいた絵本「わたし」の中のお父さんが食事をつくり、お母さんが新聞を読んでいるシーンに会場中が沸きました。絵本にはさまざまなメッセージが込められていることも教えていただきました。

最後に会場から「これまで楽しかったことは何ですか」の質問に、末盛さんは、「悲しいことも楽しいこともすべて私にとって大切なこと、私の一部です」と答え、良いところも悪いところも認めて受け容れてあげること生き直すことができるというメッセージをいただき、講演会は盛況のうち終了しました。



《会場の様子》

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

《参加者の声》

◎とても身近に感じることができた楽しい講演会でした。

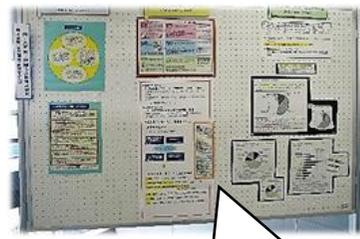
◎とても素晴らしい講演でした。私も気持ちの持ちようを改めなければと思いました。本当にありがとうございました。

◎自分のすべてを受け容れて生きられるからこそ他の悲しみに共有できる優しさをもっているのだとお話を伺いながら感じました。私も絵本を読んでみたくなりました。

《もりおか女性センター5階》

【展示・関連ビデオ上映】

◎開催期間中、男女共同参画社会基本法のパネル展示やビデオ上映も行いました。新しいビデオも加わり、多くの方にご覧いただきました。



第4次男女共同参画基本計画に伴い、国、岩手県、盛岡市の取組み状況パネルを展示



末盛千枝子さん関連図書コーナー



ビデオコーナー

関連図書

【もりおか女性センター所蔵図書】

◆「『私』を受け容れて生きるー父と母の娘ー」 著者：末盛千枝子 新潮社 (2016年)
◆「人生に大切なことはすべて絵本から教わった」 著者：末盛千枝子 現代企画室 (2010年)
◆「人生に大切なことはすべて絵本から教わった」(2) 著者：末盛千枝子 現代企画室 (2013年)
◆「一冊の本をあなたに 3.11 絵本プロジェクト・いわての物語」 著者：歌代幸子 現代企画室 (2013年)
◆「橋をかけるー子供時代の読書の思い出」 著者：美智子皇后 すえもりブックス (2009年)
◆「わたし」(絵本) 著者：谷川俊太郎 絵：長新太 偕成社 (1981年)

【その他関連図書】ーすえもりブックスー

◆すばらしい季節 著者：タシャ・チューダー 訳者：末盛千枝子
◆ゴールドイーのお人形 著者：M.B.ゴフスタイン 訳者：末盛千枝子
◆ピアノ調律師 著者：M.B.ゴフスタイン 訳者：末盛千枝子
◆あなたのひとり旅 著者：歌代幸子

ほか多数

● 事業のご案内

■女性のからだを考える講座「60歳から考える、わたしのからだ」

本講座では、年齢を重ねてもイキイキと過ごせるように、年齢と共に訪れる身体の不調や変化について学びます。講義と、どこでもできる簡単な運動を通して、健康について考えてみませんか。

日時：8/10(木)、18(金) ※開催曜日が違います。
13:30~15:00

会場：大会議室(プラザおでって3階)
対象・定員：おおむね60歳以上の女性・20人
参加費：無料

申込方法：7/19(水)10時から、電話(604-3303)にて先着順に受付

■みんなのおしゃべりルーム「“これからの私”のおしゃべりカフェ」

年齢を重ねるごとに変化する女性のこころと体。日頃から感じている悩みを話したり体験を聴いたりする中で、生き方のヒントを探してみませんか？

日時：8/25(金) 13:30~15:30

会場：もりおか女性センター 生活アトリエ(プラザおでって5階)
対象・定員：50代以上の女性・5人
参加費：無料

申込方法：8/1(火)10時から、電話(604-3304)にて先着順に受付

■子育て応援講座「わたしの“ちょうどいい”子育て♪」

子育て中の女性が抱えている悩みや不安を軽減し、安心して自分らしい子育てをするための子育て応援講座です。

日時：9/8、15、22(毎週金曜日)
10:00~11:30 ※9/8のみ12:00まで

会場：もりおか女性センター 生活アトリエ(プラザおでって5階)他
対象・定員：母親と子ども(首の据わった生後6カ月から1歳6カ月)・10組
参加費：無料(但し材料費500円)

託 児：有料(子ども1人につき一回500円)
申込方法：8/21(月)10時から、電話(604-3303)にて先着順に受付

● 起業応援ルームからのお知らせ

■パソコンミニセミナー

①エクセル入門・簡単な家計簿の作り方

日時：9/7(木) 10:00~12:30

②ホームページ作成体験

日時：9/21(木) 13:00~15:30

*会場：起業応援ルーム(プラザおでって1階)
*申込方法：8/18(金)10時から
電話(624-3583)にて先着順に受付



■芽でるの本棚



起業応援ルーム芽でるネットでは、プラザおでって1階エレベーターホールの掲示板で、「今月のオススメ本」を紹介しています。

起業応援ルームには起業やビジネスに関する本を中心に約300冊の本が所蔵されています。

どなたでもご利用いただけますので、是非ご覧ください。